

# 神奈川県立厚木西高等学校

## 令和5年度 第3回学校運営協議会 議事概要

日時 令和6年3月12日(火)

15:00~16:45

場所 厚木西高等学校 会議室

### 1 開会

・会長挨拶

・校長挨拶

3月1日に250名の卒業生を送り出した。

1年間を振り返り、スクールポリシーや教育目標などを鑑みて取組を報告させていただく。

### 2 報告・協議事項

○厚木西高等学校の学校経営について

学校評価報告書(実施結果)《各グループより説明》

#### 【学習支援G】

・「授業改善」では指導と評価の計画を單元ごとに作成し、その單元では何を学ぶかの目標を明確にし、それを達成するためにはどのような学習活動が必要かを考え、最終的には評価に結びつけている。指導と評価の計画は授業設計図であり、観点別評価などが適切にできた。

・「ICTの活用」についてはコロナ禍があったから進んだという面がある。ICTは日々進化しているので、更に進めていきたい。

#### 【生徒支援G】

・学年会、グループ会議を行い生徒の状況について情報共有している。

・スクールソーシャルワーカー(SSW)は生徒が学校生活で困っていることを聞き取り、役所や児童相談所にも繋げている。保護者が困っている部分にもSSWが入って対応している。

・自転車事故は4,5月に比べると減ってきている。

・自転車が歩行者を追い抜く時、速度を落とすよう注意しているが実行に結びついていない。

・イヤホン着用やヘルメット着用についても声掛けしている。

#### 【活動支援G】

・今年度、西翔祭体育の部と文化の部の見直しを行ったことで充実した活動ができた。

・体育の部ではマスコット制作の幹部を強化し、多くの生徒が参加できるようになった。クラスで団結できるような新種目を取り入れ、積極的に生徒が参加できるようになった。

・体育の部は暑い時期の実施であるため、テントでの休息や水分補給など生徒の体調に配慮していきたい。

・文化の部では食販が4年ぶりに実施できた。

・文化の部はスケジュールの見直しを図り、全体の見通しが立てられるようにしていきたい。

・生徒会では生徒会長がリーダーシップを発揮し、7月には七夕、12月にはクリスマスの飾り付けなど新企画を行うことができた。

・部活動ではサッカー部が県ベスト29、陸上競技部、ソフトテニス部も県大会出場。

・1年生の加入率を上げるために、今年度「仮入部期間」を設定した。様々な取組により、部活動の加入率が少し上がった。更に部活動の活性化を図っていききたい。

#### 【キャリア支援G】

・タブレットを使用した就職先調べて発表の機会を増やした。上級学校訪問や職業講話、模擬試験の実施により、進路実現を具体的に考える機会を提供できた。

・地域との連携でインターンシップにより就職への理解を深めさせることができた。西高周辺は企業が多くあり、以前のように企業連携を深め、生徒が現地を訪問する機会を増やしたい。

・朝学習ではスタディサプリングリッシュに取り組ませ、英検の合格実績があがった。定期試験前はスタディサプリを活用した英語以外の科目にも取り組ませていきたい。

・特別募集生徒の3年生には近隣企業2社、上級学校2校の見学、2年生には近隣企業・事業所10社で就業体験を実施した。

#### 【地域連携・共生推進G】

・6月全公立展、8月公私合同説明会、10、11月学校説明会（本校独自）、8、12月施設見学を実施した。更に説明会の内容の精選など工夫していききたい。

・広報活動としてホームページの更新を行っているが、更新の頻度が課題。やり方を工夫し、本校の良いところを発信していききたい。コロナ禍で途絶えてしまった地域との繋がりを復活していききたい。

#### 【学校管理G】

・生徒の下駄箱の一部、全クラスのロッカーを新しいものに入れ替えた。

・本校では毎月15日をエコの日として、省資源省エネを呼びかけている。2月の電気使用量10%減という目標を立てて取り組むことにした。自然環境委員会の生徒から昼休みに「2月省エネ強化月間」及び、電気使用量10%削減目標について放送をしてもらい、美術部の生徒にはポスター作成を依頼し、全クラスに掲示した。その結果、8%減少させることができた。

・防災については6月机上演習、11月は避難訓練を行った。

・厚木西高校は今年度新たに、土砂災害の指定を受け、土砂災害のマニュアル等を作成し、避難確保計画と一緒に厚木市に提出した。

#### <委員からのご意見>

【委員】生徒による授業評価を実施した後に教員間で共有していることは素晴らしい取組だ。教員の方も発見が多いと思うので、続けていただければと思う。

【委員】授業評価については教員が聞く姿勢があることが良いところだと思った。

ティームティーチング（TT）はどのような科目で行っているのか。

⇒数学、英語、理科、国語で実施している。2人教員がいることにより、質問しやすい環境づくりや授業改善に結びつけている。

【委員】今年度、スクールカウンセラー（SC）だけでなく、ソーシャルワーカー（SSW）も配置されたということだが、本人や家族の課題は社会支援と結びつかないとなかなか解決しないと思う。その部分が充実したことは良いことだ。

【委員】SCとSSWは役割分担しているのですか。

⇒SC毎週木曜日、SSW毎週水曜日に来て、生徒の相談を別々に受けている。時にはお互い情報共有している。主にカウンセリングはSC、家庭環境はSSWが対応。

【委員】交通安全指導により事故件数が減っていることは良いことだ。通学路の道路の安全性を確認した方がよいと思う。森の里は坂道も多く、自転車も速度がでるので、道路が凸凹していると危ない。地域でも確認しているが、学校でも年に1度くらい道路状況を確認して、市役所に危険な箇所は伝えたほうが良い。

【委員】SCやSSWに相談できない生徒はどのようにしているのか。

⇒今年度「かながわ子どもサポートドック」を神奈川全体の取組として実施した。生徒がパソコンでアンケートに回答する形式で実施。生徒の回答に対して必要があればプッシュ型対応として担任から声かけを行っている。

【委員】高校の朝学習はどのように行われているのか。

⇒朝のHR前に10分間、タブレットやスマートフォンを使用して、各自のペースでスタディサプリに全員取り組んでいる。

【委員】森の里地域では三大祭といって、5月こいのぼり祭り、8月夏祭り、12月クリスマスコンサートがある。西高生徒には毎年参加してもらっている。地域が高齢化してきていることもあり、準備の部分で協働できるとよいと思う。

【委員】学校のHPで森の里の「ここが良よ森の里」というHPと連携できないか。

⇒HPにリンクをつけることはできると思う。地域とのリンクは他校では見当たらないので面白い取組だ。

【委員】通学時や自宅にいる場合についても防災を考えていく必要がある。

⇒災害発生時だけでなく、登校時や被災後のことも想定した防災を検討していかなければならない。ランドデザイン案にもそのことを踏まえて、「被災時、被災後の対応の検討」を入れた。

【委員】エコポスターは良い。生徒が手書きで扉に「開けたら締めましょう」と書いてある紙が貼ってあったので、生徒は認識していることを感じた。

【委員】地震対策について、東日本などモデルケースを参考にされてみてはどうか。

【委員】自分も西高の校訓や目指す人間像については知らなかった。西高が目指すところ、理念を親や地域の人知っていたほうが良い。

【委員】防災意識の向上を図るとあるが、災害時の安否確認はどのように考えているか。

⇒生徒と教員が繋がっていて相互に連絡がとれるシステムがある。このシステムは普段の連絡で使用しているが、安否確認の一つの手段として考えることができる。防災時の安否確認などで活用していきたい。

### 3 意見交換

【委員】4年間の目標について、人が入れ替わっても組織として一貫して行ってきたことがすごいと思う。

【委員】4年間の目標の中で、進路指導における関係機関との連携を深めていくとあるが、そのことが生徒の進路指導に繋がっているのだと思う。

SSWと連携しながらということがあったが、西高校の動きが社会の様々な資源とつな

がる中で、目標を達成しつつ深めていって欲しい。

【委員】生活指導や学習指導が手厚く行われており、安心感のある学校だと感じている。西高校での取組をもっと多くの人に知ってもらいたい。合同の発表会などで魅力を伝えてもらえたらと思う。

【委員】地域との協働の改善の兆しが見えてきたので学校と協力して進めていきたい。

【委員】PTAの立場から親として相互理解が必要であると感じている。今後もこのような活動を行うパイロット校であって欲しいと思います。

【委員】この1年間、学校行事の見学や、評議員会で各グループからの話を聞き、またご意見を伺ってきた。その中で話題になったことはどれも素晴らしいことだと思う。厚木西高校は集団の支援をしていますが、個別支援がきめ細くなされていると改めて感じた。この素晴らしい取組をもっと外部の方に知ってほしいので、様々な手段で外部に発信していけるとよいと感じた。

⇒ご意見を伺い、学校を作るのは人であると感じた。その中で教員の果たす役割は大事で、何で教員になろうと思ったのか、専門性を高めていきながら、生徒にとってはたった1回の高校生であるから、それを支えていけるような教員集団でなければならないと思う。そういう意味でも学校運営協議会の場は大事である。中学校の卒業生と高校の卒業生を見比べると、改めて高校3年間で大きく成長していると感じた。高校での3年間で生徒にとって素晴らしいものになるようにするのが私たちの役割だ。

#### 4 その他

#### 5 閉会

以上